

—— 第一印象はいかがでしたか。

購入してよかったです。間違いないと思いました。やっぱり電磁波のもの、例えば、こたつとか電気カーペットで寝たら、身体から水分飛んでしまって、身体を悪くしてしまいますよね。すごくダルくなります。でも、湯たんぽを置いてお湯の熱で温かくして寝たらダルくならないですね。トルマリンホットパックも同じだと思います。電気のものとは全く違いますね。身体の表面だけを温めるものとは違います。イメージですが電磁波のものは水分を飛ばしているような気がしています。



「最小最短で治療効果が出るように、患者さんにも負担がかからないようにしています。」

—— 施術者の視点から見てどうでしょうか。

そうですね。治療効果がすごくいいと僕は思っています。弊社では、アキュスコープ（微弱電流治療器）を使っているんですが、これは自律神経に作用したり、リラックスさせたり、痛みを取ったりする治療器です。弊社ではこれをメインに使っているんですが、トルマリンホットパックを置いて、リラックスしてもらってからやったほうが治療効果がかなり出ているように思えます、絶対。相乗効果でしょうか。感度もよくなるんですね。



僕は鍼の免許は持っていないんですが、鍼灸の先生もトルマリンホットパックをやりながら治療するとか、やった方がいいんじゃないかと思います。間違いなく効果があるように思います。トルマリンのホットパックを身体に置くだけで、かなりリラックス効果と痛みの軽減があって、そこにアキュスコープを使っているの、効果が早く出るように思います。

—— どんな患者さんに効果があると感じますか。

女性ですかね、冷えをお持ちの方とか、生理痛をお持ちの方とか。後は、高齢の方ですね、膝が痛い方とか。うちは学生さんも多いんですが、スポーツ外傷でも使っています。幹部にあてると捻挫とかにはよくないので、痛みを取ってあげたい時などに、お腹とか背中とか過緊張の所に、置いて身体を緩めています。

—— 主にどの部位に使用していますか。

うつ伏せの時は、腰とふくらはぎなど足に使っています。仰向けの時は、お腹と足首に、置いています。大げさじゃなくて、だいたい2〜3分で寝てますから、かなりリラックスしていると思います。



—— 患者さんの反応はいかがでしょうか。

ありきたりですけど、「気持ちいい」と言われます。メドマー（エアーマッサージ機）を使う時は、スタッフがおなかにトルマリンホットパックを置くんですが、それを忘れていたら、必ず患者さんの方から「すみません、ホットパックください!」とってくるんです。忘れていたら、患者さんから「置いてくれ」と。「これは何でできているの?」「何が入っているの?」とか言われます。欲しいと言われる患者様が結構多いんです。以前は個人向けがなかったですね。家庭用があれば、かなり需要があると思っていました。

—— トルマリンホットパックの効果としてはいかがですか。

ホットパックを置くのはスタッフにやってもらっています、僕が指示をして。患者様もリラックスした状態で、僕が施術に入りますので治療に専念できています。トルマリン効果で、リラックスしている状態なので、無駄な刺激は入れないようにしています。せっかく身体が緩んだ感じになっているのに、そこにゴリゴリと施術してしまうと、逆に疲れたり、激しく運動した後みたいな疲労感が出て、逆効果だと思います。せっかくトルマリンホットパックで緩んだ身体がガチガチになってしまうので、最小最短で治療効果が出るように、患者さんにも負担がかからないようにしています。

—— 本日は貴重なお話をありがとうございました。

トルマリンホットパック 導入事例のご紹介 Vol.6



20分くらい温めていたら、たちどころに
よくなって「すごい!」と思いました。
関節を扱わなくても温熱効果
これほどすごいのか、と。



川南整骨院 院長 白水 豪 様

「作業効率が格段によくなりました。
衝撃的でした。」

—— 導入されて、どれくらいでしょうか。

トルマリンホットパックが発売されて、初期の頃ですね、10年くらいでしょうか。

—— 導入したきっかけは何でしょうか。

トルマリンホットパックを導入する前は普通の整骨院でした。インターン時代にしていたことと同じような事をしていて、理学療法がたくさんあり、機械を入れることがいいことだと思っていました。

今まで技術が一番だと思っていましたが、その後、移転するのをきっかけに、店舗立地のセミナーに行きました。技術だけで集客ができと思っていたら、セミナーで「まず立地」と教わりそこで考え方が変わりました。整骨院のビジネスの考え方から、まずは考え直さなきゃと思いました。



タイミングよく、500m先に移転して、10坪が3倍になりました。そのとたん、従業員もよく来るようになり、患者さんもよく来る

COMPANY PROFILE



白水先生は、日本オリンピック委員会強化スタッフとして、水泳日本代表やラグビー日本代表、プロサッカーチームのトレーナー活動をされています。宮崎で整骨院を運営しながら、定期的に東京でも完全予約制の自費治療をされています。

ようになって環境の変化がこんなにも大事なんだと思いました。

それから、中のオペレーションの事をタオの中園さんに聞いて、タオさんのビジネスセミナーに通い出したんです。その時に機械を減らしてトルマリンホットパックを導入しました。そしたら、3人でやっていたことが2人でできるようになったり、作業効率が格段によくなりました。衝撃的でした。機械を減らして、その分の人件費でスタッフを増やす事ができました。その辺りが 一番の全盛期で、その時にオリンピックの話が来ました。人生の転機でした。2008年頃ですね。

「内臓を温めたり、ツボに置いたり。
お灸のような使い方をしています。」

—— トルマリンホットパックの使い勝手はどうでしょうか。

使い勝手がいいのはわかっていたんですが、ただ置くだけではなく、治療の一環として使っているのは他の方と違う所かなと思います。内臓を温めたり、ツボに置いたり。お灸のような使い方をしています。



オリンピック選手のケアをする白水先生



日本オリンピック委員会からの委嘱状

東洋医学のセミナーを2カ月に1回、うちでやっていました。その時の東洋医学の先生が、お灸の話をしていました。その時、僕は膝が痛くて、曲がらなくなることも年とともに多々ある状態でした。関節の施術をしても何歩か歩くとまた元に戻って、長引いていました。僕は、働きすぎて関節がずれているからだと思っていました。ところが、冷え性からくと先生に言われたんです。冷え性からだとは思っていませんでした。すると、先生に「かかとを温めたらいい」と言われ、かかととは腎臓の膀胱経（ぼうこうけい）なんですね。セミナー中20分くらい温めていたら、たちどころによくなって、「すごい！」と思いました。関節を扱わなくても温熱効果ってこれほどすごいのか、と。灸の免許はない僕らは、トルマリンホットパックを駆使して、膝が痛い方の場合、冷え性がある方には直接膝を温めますし、だいたい「大腿部」と「かかと」にトルマリンホットパッ

クを置いています。「大腿部」が緩むと膝が回りやすくなりますし、「かかと」が緩むと、膝関節のロックが外れるような。



また、お灸しているところに行くと、煙がモコモコしていますよね。設備投資も必要だし、内装も定期的に必要でしょうけど、そんな事はいらなくて。しかも、トルマリンホットパックでも、十分に効果が高いと思います。むしろ、お腹にも当てられますし、途中で場所を変えたりも簡単です。確かお灸も当てる所を変えますよね。

—— 患者さんの反応がいかがでしょうか。

冬場は温かくて気持ちいいと言われますね。夏場は「熱い」と言われるので、タオルを厚めにしたりしています。ただ、夏は冷たいものを飲みすぎて、お腹が冷えている人が多いんです。背中に置くのは、汗をかいていてイヤだと言われますが、「あなたはお腹が冷えているから」と説明して、お腹とかにトルマリンホットパックを置く事が多いですね。そうすると関節が緩みますので。夏はクーラーで冷えて、冷たいものを飲んで、関節が固まって、腰痛になったりとか。足とお腹が冷たくて、顔は熱い人が多いです。

—— 治療効率としては、いかがでしょうか。

トルマリンホットパックを置くとあまり緩めなくても関節が緩むので、時間短縮にもなりますね。施術するより、緩みます。温度変化が大事なんですね。副交感神経を働かせるには、施術よりも温度をあげる事だと思っています。強い施術だと逆に緊張しますし。そんなリスクよりも、温度変化が重要。副交感神経を働かせる為に、やさしい治療、やさしい言葉、やさしい温かさ、が大事と思っています。

別の石とかジェルパックとかでもできるかなと思ってやってみた事があるんですが、全然違っていました。

—— 業務面で手間はいかがでしょうか。

機械とか電気ものはコードがありますが、トルマリンホットパックはコードがないので、使いやすいですね。後は、持ち運びが便利です。別の部屋で使おうと思った時にも、他の機械だとゴロゴロガラガラと持って行かないといけませんよ

ね。湿式のホットパックだと水つけて持って行かないといけないし。

後は、トルマリンホットパックは、熱を持っている時間が長いのが特徴ですね。他に、あずきとか、別の石とかジェルパックとかでもできるかなと思ってやってみた事があるんですが、全然違っていました。まずは、他のものは石が軽いですね。トルマリンは重いですから、温めるのも時間がかかります。軽いものは温めるのは早くても、すぐに冷めましたね。また、重さがちょうどいいですね。いちいち結びつけなくても安定感があるし、落ちにくいですね。装着物は通常マジックテープで止めなくてはいけなかったり、それを嫌う方もいますので。

—— コスト面ではいかがでしょうか。

トルマリンホットパックを導入してから、ここ10年、機械代がほとんどかかっていません。そのお金は、セミナー代とか勉強代として使っています。

—— 何かご要望、改善点はありますでしょうか。

そうですね、修理の時に、送る時がちょっと手間かなと思いました。ウォーマーのモーターの中に粉じんが入るので、フィルターがつくといいのかなと思います。そんなにマメに掃除機で掃除ができていなかったのもありますが……

後は、ウォーマーの段の隙間が狭いので、もう少し空間があれば、取りやすいかなとも思います。

—— 本日は貴重なお話をありがとうございました。

トルマリンホットパック 導入事例のご紹介

Vol.7



**トルマリンホットパックを置いて、
リラックスしてもらってからやったほうが
治療効果がかなり出ているように
思うんです。**

佐藤じゅんじ整骨院

院長 佐藤 淳治 様

COMPANY PROFILE



佐藤じゅんじ整骨院様はトータルバランス理論等を駆使して、患者様の痛みを根本から解決されています。開業当初からトルマリンホットパックを導入、様々な最新治療機器と併用されることでスポーツ選手やアスリートの治療に成果を出しておられます。

いとずっと思ってたして、電磁波のものより絶対にいいと思いました。ホットパックの現物は見た事がなかったのですが、迷う事なくこれに決めました。

**人間の身体に使うものだから、
自然のものがいいとずっと思っていました。**

—— 「トルマリンホットパック」を導入されてどれくらいでしょうか。

もうすぐ8年目になります。

—— なぜ、トルマリンホットパックを導入しようと思ったのですか。

開業する前に勤めていたところでは、電気のホットパックを使っていました。そこの先生に温熱の事をすごく教えてもらって人間にとって“温める事”がすごくいいんだ、と大事さを教わりました。開業する時に、どの温熱器具を使おうかと思っていたらWEBでこちらの商品にヒットして、トルマリンホットパックの事を知りました。トルマリンという天然の石を使っているのを知って、ホームページを見た時に「これだ!」と思いました。人間の身体に使うものだから、自然のものがいい